1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2022 年 11 月 4 日発行　　SSKR 通巻第 9625 号

SSKR

にじの会だより　Vol.83

社会福祉法人　にじの会
理事長　石崎　優仁
〒181-0015　東京都三鷹市大沢１－６－３
TEL 0422-39-2411
FAX 0422-39-2412
ホームページ：nijinokai.org

３年ぶりに「にじの会まつり」を開催しました

せいび・すばるの楽器演奏

井の頭マジック

コカリナ・木の精　演奏

にじの会バンドの演奏

みんなでボクササイズ

10　月 29 日（土）素晴らしい秋晴れのもと、第１７回「にじの会まつり」が 3 年ぶりに大沢にじの里で盛大に行われました。今年は感染予防の為、イベント会場と屋上の喫食スペースは入場制限を実施させて頂き、入口での検温・消毒を徹底しました。その代わりに YouTube でイベントの実況配信を実施し、生活のスペースや屋上喫食コーナーでも観る事ができました。イベントは石崎理事長の開会あいさつに続いて、「井の頭マジック」さんがびっくりドキドキのマジックショーで場を盛り上げてくれました。次に大沢にじの里の「せいび・すばる」利用者の皆さんの楽器演奏の発表が元気に行われました。休憩後の午後の部では、15 年前からにじの会でボランティア出演されている「コカリナ・木の精」のコカリナ演奏会で参加者もマスクをして静かに一緒に歌いました。来賓の河村三鷹市長から応援の言葉を頂き、にじの会スタッフバンドの楽しい楽曲とにじの会のマスコットの「niji ちゃん」のボクササイズで終了となりました。販売コーナーでは「にじの会後援会」の模擬店やバザー、ハーモニーのパンや食品、未来工房の和菓子や織製品のお店と新発売の来年カレンダー等、多くのお客様が買物を楽しんでおられました。

バザー

３年ぶりのにじの会まつりが無事に開催でき、地域の皆様、家族の皆様、利用者やスタッフの皆さん等の多くの方々のご協力に深く感謝をいたします。

（定期行事担当　田中克樹）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2022 年 11 月 4 日発行　　SSKR 通巻第 9625 号

新型コロナウィルス感染対策・今後のにじの会の取組み

にじの会理事長　石崎優仁

猛威を奮った新型コロナウィルス感染の第７波は、８月末から感染者数の低減が見られ９月下旬には３分の１程度の新規感染者数になって、ようやく収束の見通しが出つつあり、全国旅行支援や観光入国制限緩和等の社会活動の復帰の動きが進んでいます。

第７波の期間中、にじの会では７月と９月に２回の施設内感染が発生してしまいました。職員の懸命な BCP 対応により短期間の事業休止で日中活動は再開できましたが、各生活施設の隔離は２週間程度継続となりました。第７波の感染者急増により、にじの会でも利用者・役職員に陽性者や濃厚接触者がまだ発生しているため、施設内感染防止を最重点にした運営が引続き必要ですが、今後の「with コロナ社会」に向け順次「にじの会まつり」等の社会活動の再開も進めてまいります。

＜事業運営＞

１．行事等の予定

①スポーツ大会　　１１月１８日（金）　屋外で実施予定です。
②クリスマス会　　１２月２３日（金）　各事業所で開催予定です。
③成人式　　１月　６日（金）　本部で実施します。
④文化行事　　３月　３日（金）　三鷹市公会堂で４年ぶりに開催予定です。

２．短期入所　　通所利用者と前３日以内の陰性確認者に限定した受入れを継続します。

３．就労事業の営業時間　ハーモニーガーデンは火～金は１７時まで・土曜は１９時半まで営業
オーソレミオは１７時まで・大沢ハーモニーは１６時半までの営業

４．地域貢献事業　①大沢地区買い物送迎支援事業は週３回送迎支援・週１回代行支援を継続
②三鷹市内の子ども食堂へのパン・惣菜の無償提供を月１～２回実施

＜PCR 検査＞

１．一斉 PCR 検査は全利用者・役職員対象に毎月１回実施します。
２．生活施設職員の毎週 PCR 検査は都の現物支給が継続する期間実施します。

＜ワクチン接種＞

１．オミクロン用コロナワクチン接種は未実施の利用者・職員を対象に積極的に進めます。
２．インフルエンザワクチン接種は、１１月中旬に全利用者・職員対象に集団実施します。

＜感染予防策＞

１．利用者・職員の予防策の継続　①体調異常時の静養と通院して PCR 検査の受検
②通所時の時差出勤の励行とマスク着用の徹底
③家族等に感染可能性がある場合は通所を自粛

２．行動制限を行う外出先　①マスクを外して他人と接する行動・場所
②マスク無しや大声を出す危険がある行動・場所
③感染予防策（３密防止、換気、手指消毒等）が不十分な場所

３．職員の感染予防策強化　①職員の健康チェックを１日２回実施し、少しでも異常がある場合は早退し通院を徹底します。
②感染可能性がある人が発生した場合、本人は隔離・待機し早急に PCR 検査を実施します。濃厚接触した関係者も同様に隔離します。

以上のように、マスク着用・手洗い励行（手指消毒）・換気励行・３密防止等の感染予防策を徹底し、感染リスクのある行動は避け、リスクがある場合は抗原検査や PCR 検査を実施し陰性を確認後に利用再開や職場復帰とし、施設内感染防止に努めてまいります。同時に、安全を確認しながら社会活動の再開を順次進めて行く予定です。

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2022 年 11 月 4 日発行　　SSKR 通巻第 9625 号

8 月 11 日「人権擁護研修」報告

＜大沢にじの里＞

午前中は、人権擁護委員会の主催で虐待防止チェックの振り返りと「寄り添う支援」について話し合いをしました。虐待防止の為の意見交換（所感、虐待防止のために意識すべきこと、新たにマニュアルに入れたい内容など）を活発に話し合い、これからも虐待防止を守っていく事を確認しました。午後は「にじの会 20 周年の歩みと法制度」と 20 周年式典の動画視聴をして、その後感想と意見交流をしましたが、各工房の特色が感じられました。（大沢にじの里　田中克樹）

＜にじアート＞

午前中は、にじの会虐待防止マニュアルチェック報告とまとめの動画を視聴した後にチェックが多かった項目について意見交換を行いました。その後は合理的配慮の動画を視聴しグループワークにて「実践している合理的配慮」の確認や「強みを活かした支援」について討議を行いました。午後は業務改善についてグループワークを行い、日頃の支援や業務・運営にあたって改善できる点が無いか話し合いを行い、いくつか提案なども出されました。（にじアート　時田秀明）

＜ワークショップハーモニー＞

6 月に実施した虐待防止チェックを振り返り、特に日頃の製造作業の現場で利用者の方々やスタッフ間で、「丁寧な言葉遣い」を徹底できているか意見交換し、私たち支援者として、日頃から丁寧な言葉を徹底していくことで、丁寧な支援にもつながることを再確認しました。

また「寄り添う支援」について、個々の利用者がどの様に感じているか探りながら、ご本人の思いを受容し共感すること、個々に合った合理的配慮の工夫と実践が大切であると共有しました。

研修の後半は「個人情報の取り扱いについて」意見交換し、現在取り組んでいることを振り返り、個人情報の取り扱いについて、個々の捉え方の差異を修正し共通化しました。
（ワークショップハーモニー　清水）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2022 年 11 月 4 日発行　　SSKR 通巻第 9625 号

にじの会 SDG s の取組み

「５事業所への太陽光発電と蓄電池設置の報告」

前号（にじの会だより Vol.82）でお知らせしました、にじの会 5 か所の事業所（ケアホームにじ、にじの森、にじの空、にじアート、ワークショップハーモニー）の太陽光発電・蓄電池システム導入工事が完了し、運用を開始しました。

にじの森の太陽光発電パネル

東京都の助成金（経費の 3 分の 2）を利用させていただく為、昨年度から施工業者の選定から始まり、現地調査、見積書の作成、助成金の申請手続きに伴う資料の作成・提出、省エネ診断実施を経て、工事の開始。そして、ようやく運用まで漕ぎつけました。

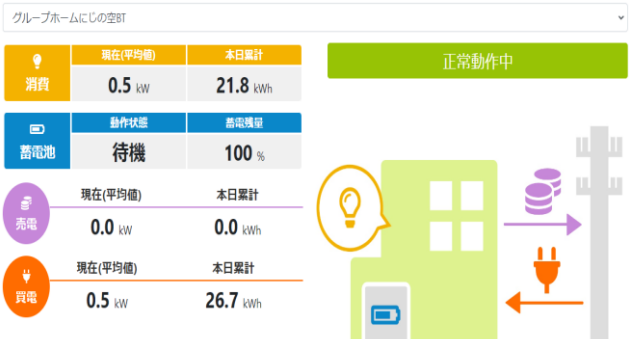
今回導入したシステムでは、発電したすべての電気を自家消費します。また、電気は蓄電池に蓄えることもできます。これにより、日常の消費電力の一部を賄うとともに、災害発生等の停電時にも必要最低限の照明やコンセントを使用することができます。

さらに、インターネットでリアルタイムの発電量、充電量を調べることができます。グラフで日間、月間、年間の推移を表示したり、計測データを CSV 出力し、Excel で表示することもできます。これらの機能を活用し、各事業所が電力消費量や太陽光発電によって節電した電力量を把握できることは、節電対策に取り組む動機付けや目標を設定する一助となります。

にじアートの蓄電池

電気料金の値上がりが顕著で、今後も上昇傾向にある昨今、各事業所が節電計画を立て、節電対策に主体的に取り組むことができるようにサポートしていきます。

（設備・防災主任　金子修）



にじの空のリアルタイムデータ

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2022 年 11 月 4 日発行　　SSKR 通巻第 9625 号

安全大会と防災備蓄

１．安全大会報告（７月１８日）

今年度もリモートによる「安全大会」を 7 月 18 日に実施いたしました。テーマは「安全衛生・防災対策意識の向上と実践を学ぶ」です。

スタッフも利用している事が多い自転車の安全利用をドライブレコーダーから見る危険予測と事故防止、交通ルールのテストを行いました。利用しやすい反面、危険な乗り物である「自転車」の危険な場面や映像（車から見た実際の映像）を見て思わず「危ない！」と声に出るスタッフもいたほどに、危険な動画が紹介され各自交通ルール・マナーを再確認しました。

ヒヤリハットと事故の違いをどの様に分けるのか、事故の振り返りと分析のグループワークで出た内容を報告書として共有することが出来ました。

昼食は備蓄用非常食の調製と試食でした。アルファ米や缶詰だけでなく、おでんやカレー等多彩な非常食と杏仁豆腐や羊羹等の甘味品も提供し、避難時の数日間、元気をもらえる非常食を経験する事ができました。これからも、非常時も含め安心安全な支援体制の整備に努めて参ります。

（大沢にじの里　白坂　伸）

２．防災備蓄の進行

にじの会では、これまでも災害時（特に大地震）に備えて、飲料水や非常食を始め、生活必需品の備蓄をしてきました。しかし、これまで災害時に必要な備蓄品は「3 日分」と言われてきましたが、今、東京都では 1 週間分の備蓄を推奨しています。

2021 年 1 月に、大沢にじの里・にじアート・ワークショップハーモニーが三鷹市と「福祉避難所」の協定を結び、それをきっかけに防災備蓄について見直すことになりました。

にじの会では、防災・防犯・設備委員会を中心に災害備蓄品の見直しを進めています。1 週間分の備蓄となると、収納スペースを確保することが難しいため、優先順位を決め、なるべくコンパクトな物を選定する必要がありました。また、「福祉避難所」となった事業所については、パーテーションやベッド（ともに段ボール製）等を確保する必要があり、悩ましい問題でした。

今年度の安全大会では、各事業所が自分たちの作成した防災備蓄品リストを委員会の収納スペースや必要数を考慮した意向に従って見直しをするという機会を設けました。

今後、それをさらに精査した上で、防災備蓄品を購入していきます。

どうしても収納スペースが確保できないと判断した、大沢にじの里、にじアート、ワークショップハーモニーについては、新たに防災備蓄品倉庫を設置することにし、現在、準備を行っています。東京都は、11 月 19 日を「備蓄の日」としています。1 年に 1 度は、びち（1）く（9）の確認を呼び掛けています。皆さんも、是非、職場のみならず、ご家庭でも実践してみてはいかがでしょうか？

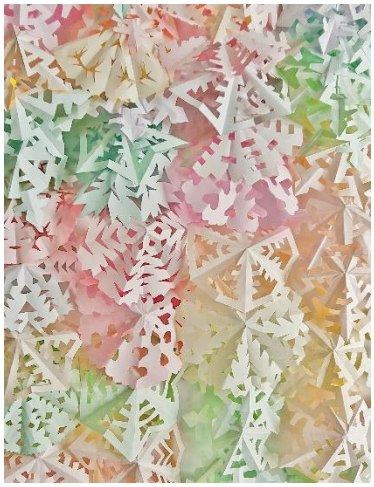
（防災・防犯・設備委員会　金子修）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2022 年 11 月 4 日発行　　SSKR 通巻第 9625 号

美術活動の報告

１．第 37 回　東京都障害者総合美術展



にじアート・遊悠工房の共同制作作品「スノードロップ」が、東京都障害者総合美術展に入選し、池袋の西武デパート本店にて７月１５日～１９日に展示されました。コロナ禍前には工房所属利用者や希望者を募り、大勢で現地に出向いていましたが、今年もそれは叶いませんでした。しかしスタッフが現地で撮影した動画を皆で鑑賞する事により、長い時間を掛けて皆で制作した作品が西武デパートで展示された喜びを共有できました。
（支援専門・美術　千葉鉄也）

２．「2022 パラアート TOKYO」国際交流展

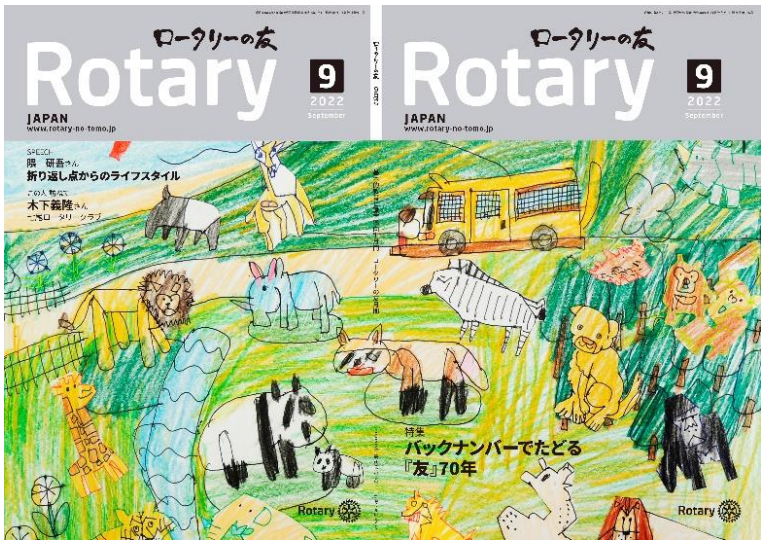
にじの里・えがおつむぎ工房の北野真理子さん（作家名：ブルーベリ）の作品「太陽の空」がパラアートＴＯＫＹＯ国際交流展に入選し、池袋の東京芸術劇場にて９月１日～５日に展示されました。やはりコロナ禍により御本人が会場を訪れる事は叶いませんでしたが、こうした状況への対応としてバーチャルギャラリーが公開されていた為、所属工房の皆さんと一緒にインターネットで展覧会を鑑賞しました。（支援専門・美術　千葉鉄也）

３．森美術館「地球がまわる音を聴く」

にじアート・わくわく工房の金崎将司さん作品６点が六本木・森美術館での展覧会「地球がまわる音を聴く」にて６月２９日～１１月６日に展示されました。この展覧会は障害者の作品展ではなく一般アーティストの展覧会で、オノ・ヨーコなど世界的作家と一緒に展示いたしました。また長期間であった為、コロナ禍が落ち着いた時期を見計らって、御本人もにじアートの皆さんと一緒に会場を訪れ、展示を鑑賞できました。

（支援専門・美術　千葉鉄也）

４．ロータリークラブ「ロータリーの友」

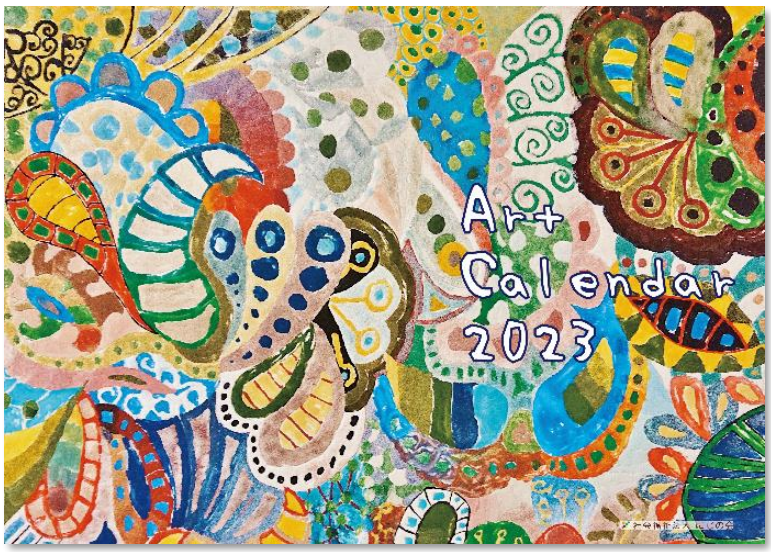


にじアート・わっしー工房の栗原祥平さん作品『サファリパーク』が、ロータリークラブの会報誌『ロータリーの友・9 月号』日本版の表紙に掲載されました。全国約 8 万 2 千人の会員のもとに配布されたとのことです。

この作品は、工房の創作活動でスタッフとともに制作されました。今回、栗原さんの作品特有の優しく、チャーミングな動物たちの様子や作品全体に流れる楽しい雰囲気がアートディレクターの方の目に留まり、採用の運びとなりました。紙面での作品紹介欄にはスタッフ代筆にて『描いたり、切ったり、貼ったり、楽しいサファリパークの動物たちがのんびりと自由に歩き回っています』との解説も掲載されています。にじの会では、展覧会やコンクールへの参加に加え、今回のようなケースも創作活動を通じた社会参加のひとつと考えています。栗原さんはじめ、にじの会での創作活動が多くの皆さんと出会う嬉しい機会となりました。（支援専門・美術　臼井絵子）

５．2023 年にじの会カレンダー

「 にじの会 アートカレンダー 2023 」のご案内



にじの会の活動で制作された作品を掲載し、来年 2023 年版のカレンダーを作成いたしました。カラフルな表紙の今回も例年と同様、折り畳んだ状態で A4 サイズ(29.7cm×21cm)とコンパクトな形で、スケジュール書き込み用の罫線入りの実用性も備えたものになっております。また、あらかじめ綴じた仕様となっているためご使用後も作品集としてお楽しみいただけます。

販売価格は一冊 1,000 円です。にじの会ショップ(オーソレミオ、ハーモニーガーデン、ハーモニー)で 10 月 31 日(月)より販売を開始いたします。ご家族・ご友人への贈りものにもおすすめの一品です。

なお、郵送にて購入をご希望の方は、配送料や振込手数料をご負担いただく形となりますが、住所・電話番号・氏名・購入冊数をご記入の上、〒181-0015　三鷹市大沢 1-1-43　社会福祉法人にじの会　ワークショップハーモニー　清水・伊藤（TEL 0422-26-8620 / FAX0422-30-2021）までお申し込み下さいますようお願いいたします。（支援専門・美術 臼井絵子）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2022 年 11 月 4 日発行　　SSKR 通巻第 9625 号

社会福祉法人 にじの会 2022 ギフトカタログ

新茶＆クッキー3種・フルーツマフィンセット

商品番号 01　2，760円

こだわり府中たまご豆乳プリン・クッキー3種・フルーツマフィンセット

商品番号 02　2，550円　冷蔵

マフィン２本＆クッキー３種セット

商品番号 03　2，690円

冬ギフト限定

こだわり府中たまご豆乳プリン

商品番号 04　6個入り1，630円
商品番号 05　8個入り2，090円
商品番号 06　10個入り2，550円
冷蔵

おまかせスモーク６種セット

商品番号 07　3，500円　冷蔵

おまかせスモーク５種＆マフィンセット

商品番号 08　4，000円　冷蔵

おまかせスモーク特選セット

商品番号 09　4，500円　冷蔵

多摩のおみやげおまかせセット

商品番号 10　1，700円　冷蔵

冬季限定！クリスマスギフト

左記の「クリスマスギフト」の「ご注文」は12／16（金）まで、「発送」は11／22（火）からとさせて頂きます。

自家製骨付きもも肉のスモーク＆クリスマスシュトーレンセット

商品番号 11　2，900円　冷蔵

フルーツマフィン＆クリスマスシュトーレンセット

商品番号 12　2，600円

ご注文方法やカタログの詳細につきましては、「にじの会」ホームページ harmonygarden. Jp をご覧頂くか、下記までお問い合わせ下さい。

《お問い合わせ先》

ワークショップハーモニー　三鷹市大沢 1-1-43

TEL 0422-26-8620　FAX 0422-30-2021　担当：伊藤

ハーモニーオンラインショップ

こちらのQRコードからも購入可能です

『にじの会だより 83 号』　定価　50 円

発行所：特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072　東京都世田谷区祖師谷 3-1-17　ヴェルドゥーラ祖師谷 102 号

TEL:03-6277-9611　FAX:03-6277-9555

編集人：社会福祉法人にじの会

〒181-0015　東京都三鷹市大沢 1-6-3　TEL：0422-39-2411　FAX：0422-39-2412